

OPEN CAMPUS 2023



6/11 [SUN] 8/4 [FRI] 8/5 [SAT] 8/6 [SUN] 9/3 [SUN] (10:00 - 16:00)

わたしの進路選びが変わる一日。

WEEKDAY CAMPUS VISIT

7/17 [MON]

外大生と一緒に実際の授業を受けてみよう!

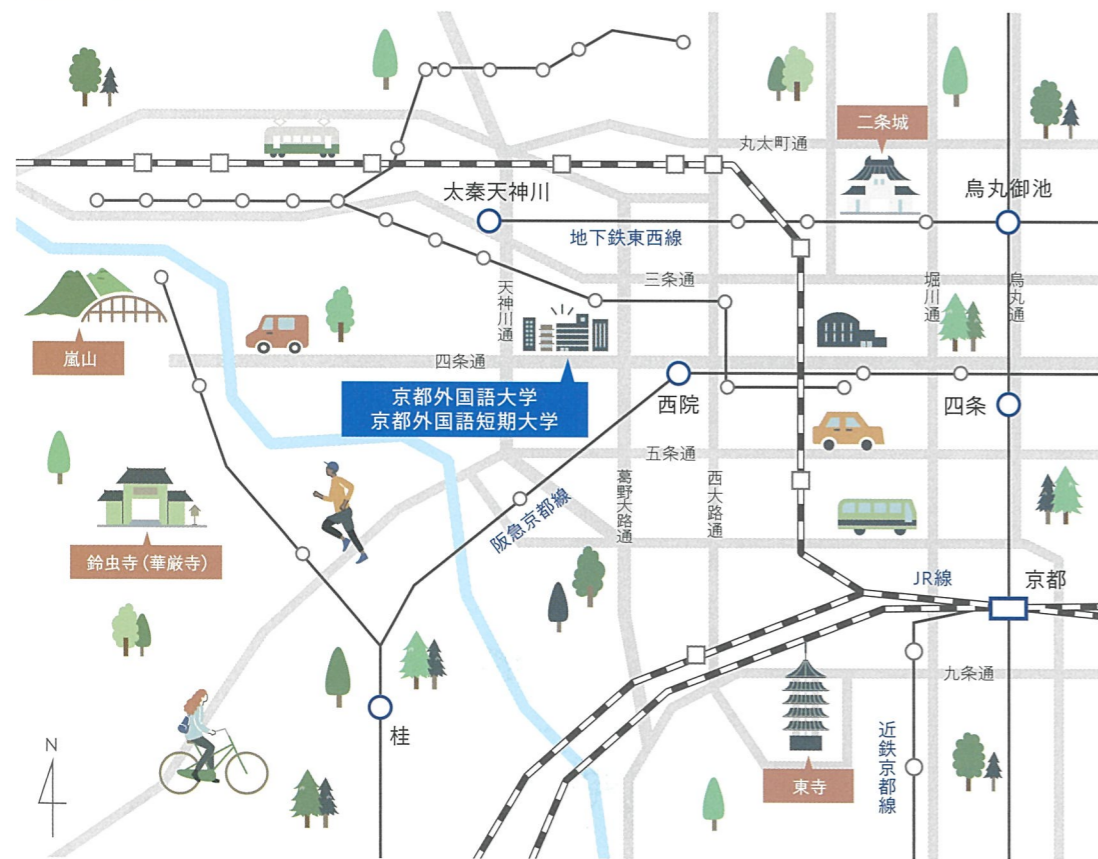
入試対策講座

9/24 [SUN] 12/10 [SUN]

詳細は本学ホームページをご覧ください。



周辺ガイド



各種SNS更新中!

Facebook



Twitter



Instagram



YouTube



LINE



SPECIAL MOVIE 公開中!



確かな語学力と多文化共生実現力を手に、世界に羽ばたく!

京都外国語大学

Kyoto University of Foreign Studies

外国語学部

■英米語学科 ■スペイン語学科 ■フランス語学科 ■ドイツ語学科 ■ブラジルポルトガル語学科
■中国語学科 ■日本語学科 ■イタリア語学科 ■ロシア語学科

国際貢献学部

■グローバルスタディーズ学科
■グローバル観光学科



世界を魅了する「京都」という場所で 日本文化の真髄と国際性を学ぶ

茶道から織物、陶芸まで現代に息づく本物の伝統、17の世界遺産を含む城や社寺の数々、そして、革新を起し続ける多くの企業、この場所で過ごすすべての時間が日本という国を知るチャンスであふれています。京都で活躍している各分野の文化人や起業家などから学べる授業をはじめ、京都にある本学ならではの「京都」にまつわる授業も豊富。

さらに、フィールドワークを行うのに最適な地であることはもちろん、世界の訪日外国人との交流を通して、本学が掲げる複文化主義を体現する国際感覚も日常的に養われていくでしょう。「京都」そのものをキャンパスと位置づけた本学は、あなたと世界をつなぐ入口に。「京都」が引き寄せてくれた日本中・世界中からの学生が集うコンパクトなキャンパスには、留学生もたくさん在籍し、まるで海外にいるような雰囲気の中で大学生活を味わうことができます。

【国際貢献学部】 Faculty of Global Engagement

本格的な社会科学系学部で「進化」する国際貢献学部

地球環境、人権、絶対的貧困、テロ、パンデミック、そして新しい冷戦。地球規模で解決が求められる世界平和を巡る新しい問題群。その構造を「科学的」に解明し、解決することのできる「多文化共生実現力」を備えた人材を輩出します。「多文化共生実現力」を養うカギは「理論」と「実践」のサイクルです。「理論」は経済学、経営学、国際関係学などの社会科学を中心に学び、諸問題の構造を読み解く能力を身につけます。また、DX・AI社会で求められる「データ科学」の素養も基礎から学びます。「実践」は夏・春の長期休暇中に、国内外のコミュニティ（地域社会）に滞在し、地域の人々と共に「社会科学」に基づく客観的かつ科学的な姿勢で地域の課題解決に取り組む「コミュニティエンゲージメント」。ゼミで「多文化共生実現力」の基盤を完成させ、本学が重視する「複言語」、国際貢献学部ならではの「デジタル技術」というツールを駆使して社会に発信します。

人や地域に貢献するビジネスとは？ 現場で考え、行動するプログラム

国際貢献学部のカリキュラムの実践パートを担う「コミュニティエンゲージメント」は、実社会を学びの舞台とするプログラム。学生たちは、学修した社会科学理論に基づいて、コミュニティ（地域社会）が直面する課題解決策を立案します。それを社会の中で実践していくことで、複文化主義を体現するコミュニケーション能力を含む、社会的スキルを養います。2年次の夏休み・春休みのおよそ1か月間、国内外のコミュニティ（地域社会）を活動の場に、人々との共働を通じて課題の解決に取り組みます。



データ科学の確実な基礎の上に、XR技術を修得 デジタルリテラシーを養う先進的な科目群

国際貢献学部では、グローバルスタディーズ学科とグローバル観光学科共通の科目として、マーケティングなどへの活用が進むXR（クロスリアリティ）技術を修得するための科目を設けています。そして、その素養として欠かせないDX・AI社会で求められる「データ科学」を基礎から学ぶべく、データ科学関連の授業を必修化。学修後は、学生たちの手で、VRとARなど最新のデジタル技術を駆使したプロジェクトも行われています。



PAX MUNDI
(世界の平和を)

グローバルスタディーズ学科

持続可能な新しい世界平和の構造を「社会科学」の側面から、特に「英語」を介して探究します。多くの授業が少人数クラスかつ、留学生と英語でのグループワークやディスカッションの機会がたくさん用意されており、「多文化共生実現力」が日常的に育まれていきます。そして、世界の多様な文化的背景にも目配りした、グローバルな政治経済、ビジネス、法律などの側面から、新しい世界平和のための解決策を学生一人ひとりが「ゼミ」で完成させます。その成果を英語はもちろん「複言語」かつ最新の「デジタル技術」を用いて世界に発信し、「Changemaker」としての自分の成長を実感して社会に飛び立ちます。



グローバル観光学科

旅行に代表される既存の観光のイメージを超えて、世界中の人々が交流し理解し合う、新しい世界平和を支える「多文化共生」のための活動を「観光」としてとらえた「観光学」を修得します。その学びの特徴は「観光学」を「社会科学」として探究する点にあり、「観光」を促進する仕組みの組織化と拡大の過程を「ビジネス」の観点から科学的に理解します。また、「ビジネス」は社会に光と影をもたらすことも念頭に、その光を促進し、影を制御するための「政策」も科学的に理解します。その他にも留学生とのグループワークやディスカッション、DX・AI社会で求められる「データ科学」とバーチャルリアリティに代表される最新の「デジタル技術」、立地を生かした「京都」の伝統と革新の真髄を講義や実習で学びます。そのうえで、学生一人ひとりが「観光学」を「ゼミ」で取りまとめ、その成果を「複言語」と「デジタル技術」というツールで社会に発信する「多文化共生実現力」を修得し、ローカルかつグローバルな視点から「観光」に新風をもたらす人材を輩出します。



専攻言語圏の文化・風習・社会を「面白く」学ぶ

外国語学部は専攻言語の技能を向上させるだけではなく、その言語圏の文化・風習・社会についての知識を得ることも特長のひとつです。専攻言語を話す人々とはどのような国民性を持っているのか。独特の文化、風習、歴史があり、それらの知識を得ることは、異文化間の理解と、異文化摩擦を解消するための必然なものとなります。日本との交流についても学ぶことで、一人ひとりが、友好の懸け橋を担う人になることができます。

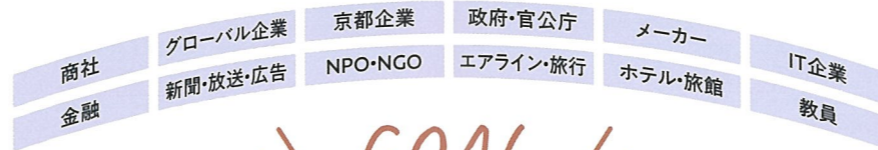


濃厚な専攻言語技能の修得、少人数クラス

カリキュラムの最初の2年間で、専攻言語を集中的に学びます。その特長のひとつは、厳格な学修段階を踏むこと。特に、英語・日本語以外の外国語は「聴く・話す・読む・書く」の4技能に、発音、文法、語彙を加え、初級段階でバランス良く達成したことを確認したうえで、中級段階に進みます。プレゼンテーションやディスカッションによるアウトプットの機会が豊富で、世界中の人々と共生するために必要な発信力や言語運用能力を高めるための授業を展開しています。

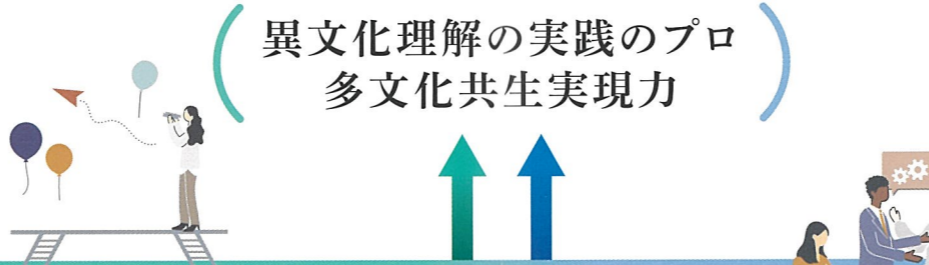


[めざせるキャリア]



GOAL

異文化理解の実践のプロ 多文化共生実現力



多様な専門分野を持つ教員陣によるゼミ

ゼミで育まれる高度なリサーチスキル

多岐にわたる分野で独自の研究を推進している教員陣。それぞれの専門性に応じたゼミを必修科目として開講しており、少人数クラスによる手厚い指導のもと、学生たちは思い思いのテーマで卒業論文・卒業研究に取り組みます。一連の活動で育まれる高度なリサーチスキルは、社会で活躍するための礎となります。

Pick up
専門ゼミ
国際貢献学部 グローバル観光学科
(村上 弘太郎 准教授)

各自で「京都」に関する具体的なテーマを設定し、それに基づき関連する文献を収集して発表。これにより各自のテーマの研究動向、先行研究の把握をします。また、ゼミ全体で共同し、伝統文化の持続可能なあり方について、調査・研究を行います。

Pick up
ポルトガル語圏語学ゼミ
外国語学部 ブラジルポルトガル語学科
(モイゼス カルヴァーリョ 教授)

心理学をベースとした学術研究の方法を学ぶことに興味を持っている学生を対象としています。語学教育や第二言語習得、ブラジルの言語変種、および言語がどのように社会の中で使用されているかなどについて研究。卒業論文の執筆をめざして、研究テーマの選択、データの収集と整理・分析、および論文の執筆方法などを学びます。

全学共通科目

Pick up ① 2言語同時学習

英語を軸にもうひとつの外国語を同時に学ぶ「2言語同時学習」は、7言語で開講され、本学ならではのマルチリンガル教育です。例えば英語とフランス語の授業では、ハリウッド映画を題材に、英語版とフランス語版の両方から、言葉の比較はもちろん、その背景にある文化の差異まで浮き彫りにします。授業には留学生も参加。ネイティブスピーカーならではの意見を聞くことができるほか、日本で学ぶ外国語と実際に使われる外国語との違いも知ることもでき、同年代の留学生との会話も楽しむことができます。そのような中で、日本語を客観的に観察することもでき、3言語をさまざまな面からとらえ直すことができます。

Pick up ② 京都外国語大学は「京都がキャンパス」

京都にある外国語大学だからこそ学べる授業が充実。京都で活躍中の各分野の文化人や企業家、知識人から学べる「京都文化論」と「日本の伝統文化」を核として、京都に関連する科目を全学で30科目以上設置し、京都の伝統と革新を深く学ぶことができます。どの学科で学んでも、全学的に展開された科目を自身の学びのニーズに合わせて、授業を履修することが可能。本学では、この「バーチャルな京都学部」で、京都の本質に迫ることができるのです。また、京都の神社仏閣や観光地に簡単にアクセスできるため、フィールドワークやボランティア活動のほか、外国人観光客をガイドする学生団体など、京都を舞台にした活動が充実しています。京都をもうひとつのキャンパスにできるのが、京都外国語大学。「古都」で「世界」を学ぶ、今と昔が混在する京都で、異文化理解に必要な自己理解、異文化への寛容さという基礎を磨き、鍛えた語学力の実践にチャレンジしてみませんか。

外国語科目(専攻語以外で学べる言語)

学べる言語数は 19言語	[外国語科目]			[全学共通科目で選択できる言語]				
	英語	ドイツ語	イタリア語	アラビア語	ギリシア語	インド語	スワヒリ語	
	スペイン語	ポルトガル語	ロシア語	オランダ語	インドネシア語	タイ語		
	フランス語	中国語	コリア語	ラテン語	トルコ語	ベトナム語		

*日本語を母語としない学生は日本語も選択できます。

【外国語学部】 Faculty of Foreign Studies

語学の修得は最終目的ではなく、可能性へのパスポート

異なる文化的背景を持つ人々と共生するチカラが、日本のみならず世界中で求められています。外国語学部には、英米・スペイン・フランス・ドイツ・ブラジルポルトガル・中国・イタリア・ロシア語学科の8つの外国語専攻学科と日本語学科があります。外国語専攻学科の特長は専攻言語技能の運用能力を高め、言語圏の文化・社会を修得し、身につけた技能と知識の応用という順で学びを深めるカリキュラム。日本語学科では日本語学・日本文化・日本語教育・日本の歴史から日本の魅力を手体系的に見つめ直すことが可能です。言語の修得だけでなくとどまらない学びが可能性を広げ、3年次から全員が履修する「ゼミ」は学生一人ひとりがその学びを深める好機となるでしょう。

複数教科の教員免許を取得できる教職課程 独自の「日本語教員養成プログラム」も設置

外国語学部では、専攻する言語の教員免許状(高等学校)のほかにも、外国語(英語)または国語の教員免許状(中学校・高等学校)を取得することができます。教育現場で実践を積んだ専任教員による教員採用試験対策など、教員を志望する学生を全面的にバックアップ。そのほか、日本語を母語としない人々に教育を行う「日本語教員養成プログラム」も用意しており、教員を志す学生たちの多様なニーズに手厚く応えます。



日本で暮らす外国人住民を支援する 「コミュニティ通訳」の育成を推進

コミュニティ通訳とは、言語の障壁があるために医療、教育、社会福祉、行政、司法などの公的サービスにアクセスできない外国人住民を支援する通訳のことを指します。日本で居住する外国人の増加に伴い、コミュニケーションの橋渡し役として社会的需要が年々増加。本学では、コミュニティ通訳に関する専門科目を新設するとともに、その資格認証機関になるべく準備し、多文化共生社会の一翼を担う人材を育成します。

※対象言語:英語、ポルトガル語、中国語、ロシア語



PER LINGUAS
(言語を通して)